

育てる読書 言葉と心を

フォーラム



人間の感性、表現力、創造力—読書はAI(人工知能)にはない心と言葉を育てます。発達心理学の第一人者、気鋭の作家、ノンフィクションの泰斗、コラムの名手、そして読書家で知られる俳優らが自らの読書体験とともに“子供たちの読書”の重要性を語ります。情報スキルに留まらない読書の本質的な意味とは？あなたも考えてみませんか。

日時 2020年11月1日(日) 13:00～16:00 (予定)

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター
カルチャー棟 大ホール(東京都渋谷区代々木神園町3-1)

プログラム 13:00～ 開会式 ごあいさつ 鈴木 みゆき
13:05 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 理事長

13:05～ オープニング 「私と読書」 上白石 萌音さん
13:25 俳優・歌手

13:25～ 第一部 講演 「AIに負けない読書力」 内田 伸子さん
14:15 IPU・環太平洋大学教授
お茶の水女子大学名誉教授

14:30～ 第二部 シンポジウム 「子供の言葉を育てる」
16:00

パネリスト 辻村 深月さん ひきたよしあきさん 柳田 邦男さん
作家 作家・博報堂フェロー ノンフィクション作家

コーディネーター 内田 伸子さん

※一部と二部の間に休憩をはさみます

主催/独立行政法人 国立青少年教育振興機構 主管/公益財団法人 文字・活字文化推進機構

後援/活字文化議員連盟、子どもの未来を考える議員連盟、学校図書館議員連盟、公益社団法人 全国学校図書館協議会、公益社団法人 日本図書館協会、公益社団法人 読書推進運動協議会、一般社団法人 日本新聞協会、一般財団法人 出版文化産業振興財団、学校図書館整備推進会議、日本児童図書出版協会

育てる読書 言葉と心を

フォーラム

上白石 萌音さん 俳優・歌手



1998年生まれ、鹿児島県出身。「東宝シンデレラ」オーディション審査員特別賞を受賞しデビュー。初主演映画「舞妓はレディ」で、日本アカデミー賞新人俳優賞などを受賞。主な出演作として、映画「ちはやふる」「羊と鋼の森」、ドラマ「陸王」「恋はつづくよどこまでも」、舞台「ナイツ・テイル-騎士物語-」、「組曲虐殺」、声優として「君の名は。」「トロールズ ミュージック★パワー」など。16年からは歌手としても活動しており、今夏には、アルバム「note」をリリース。「出費のほとんどが本」とインタビューで答えるほどの読書家でもある。

内田 伸子さん

IPU・環太平洋大学教授 お茶の水女子大学名誉教授



専門分野は発達心理学、言語心理学、認知科学、保育学。お茶の水女子大学大学院修了、学術博士。同学部教授、子ども発達教育研究センター長、文教育学部部長、お茶の水女子大学理事・副学長、筑波大学常勤監事などを歴任。読書科学賞、国際賞功労賞、文化庁長官表彰など受賞歴多数。著書に、『よくわかる乳幼児心理学』、『発達の心理-こたばの獲得と学び』、『子どもの見ている世界-誕生から6歳までの「子育て・親育ち」』など多数。近刊に『AIに負けない子育て-こたばは子どもの未来を拓く』。NHK「おかあさんといっしょ」の番組開発、ベネッセこどもちゃれんじの監修などにも携わる。

辻村 深月さん

作家



撮影：森脇裕介

1980年生まれ、山梨県出身。千葉大学教育学部卒業。2004年『冷たい校舎の時は止まる』でメフィスト賞を受賞してデビュー。著書に『ぼくのメジャースプーン』『ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ。』『島はぼくらと』

『盲目的な恋と友情』『朝が来る』など多数。11年『ツナグ』で吉川英治文学新人賞、12年『鍵のない夢を見る』で直木賞、18年『かがみの孤城』で第15回本屋大賞受賞。19年初の絵本『すきっていわなきやだめ?』(絵：今日マチ子)を上梓。プライベートでは一男一女の母で2019年ベストマザー賞文芸部門受賞。

ひきたよしあきさん

作家・博報堂フェロー



早稲田大学卒業後、博報堂に入社。クリエイティブ局で、CMプランナー、クリエイティブ・ディレクターを務めた。明治大学、法政大学などで、「広告と言葉」をテーマに講義や講演を行うほか、「朝日小学生新聞」に長年コラムを寄稿するなど、若者に日本語の潜在能力や素晴らしさ、コミュニケーションの重要性を伝えている。著書に『大勢の中のあなたへ』『5日間で言葉が「思いつかない」「まとまらない」「伝わらない」がなくなる本』などがある。

早稲田大学卒業後、博報堂に入社。クリエイティブ局で、CMプランナー、クリエイティブ・ディレクターを務めた。明治大学、法政大学などで、「広告と言葉」をテーマに講義や講演を行うほか、「朝日小学生新聞」に長年コラムを寄稿するなど、若者に日本語の潜在能力や素晴らしさ、コミュニケーションの重要性を伝えている。著書に『大勢の中のあなたへ』『5日間で言葉が「思いつかない」「まとまらない」「伝わらない」がなくなる本』などがある。

柳田 邦男さん

ノンフィクション作家



1936年、栃木県生まれ。NHK記者を経てノンフィクション作家に。1979年『ガン回廊の朝』で講談社ノンフィクション賞、95年ノンフィクション・ジャンルの確立への貢献で菊池寛賞受賞。災害・事故・公害問題や、生と死、

言葉と心の危機、子どもの心の発達と絵本の重要性についてのメッセージを発信し続けている。著書に『生きる力、絵本の力』、『言葉が立ち上がる時』、『言葉の力、生きる力』、『人生の1冊の絵本』など多数。翻訳絵本に『ヤクーバとライオン』、『少年の木』、『その手に1本の苗木を』などがある。

子供の読書活動推進事業 ～子供と本をつなぐためにできること～ 2020年度、4つのフォーラムを開催いたします。

- ▶ 8/16(日) 「読書が与えてくれるもの」よみうり大手町ホール(東京都・千代田区)
 - ▶ 9/26(土) 「図書館の新たな可能性」国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都・渋谷区)
 - ▶ 11/1(日) 「言葉と心を育てる読書」国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都・渋谷区)
 - ▶ 2021/1/30(土) 「広げよう!子供の読書環境づくり」生駒市図書館(奈良県・生駒市)
- 詳しくは、今後、文字・活字文化推進機構のホームページでご案内いたします。

国立青少年教育振興機構の取組

全国に28か所ある国立の青少年教育施設において、子供たちに集団宿泊体験や自然体験など様々な体験の場や機会を提供しています。また体験活動を推進する「体験の風をおこそう」運動や、基本的な生活習慣の確立を目指す「早寝早起き朝ごはん」国民運動等をおこなっています。

▶ 詳しくはホームページをご覧ください。 [青少年機構](#) [検索](#)

ご来場のお客様へのお願い 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、ご協力ください。

- 会場内ではマスクの着用をお願いいたします ●咳エチケットや手洗いの徹底をお願いいたします。ロビーの消毒液もご使用ください
- ロビーや会場内での会話はできる限りお控えください ●フォーラム終了まで、指定されたお席でのご聴講をお願いいたします
- 会場内の混雑を防止するため、時間差での入退場や、移動の制限をご案内する場合がございます。参加者やスタッフ等との距離を確保するための整列やご移動にご協力をお願いいたします(第二部終了後は順次アナウンスにてご案内します)

※本事業で撮影した写真や映像については、主催者の広報等の目的で使用することがありますので、あらかじめご了承ください

※お客様による会場内の撮影・録音・録画は禁止といたします

※プログラム中の入退場は、極力ご遠慮ください